

パネルディスカッション

もっと語ろう不登校

～^{私の場合}子どもが語る、^{うちの場合}親が語る～

7月12日(日)
14:00～17:00

参加費：無料

松江市市民活動センター
201・202 研修室

不登校の子どもの
ダメージの深さ

家族の精神的・経済的
負担の大きさ

母親の孤立と「子育ての
責任は母親」の意識の影響

3人の体験者や親の方々と共に参加者の皆さんと語り合い、
不登校についての理解を深めます。子どもたちに起きている
ことは、私たち大人の問題です。学校、地域、家庭はど
うあったら良いのか一緒に考えましょう。

行政・学校・地域社会の
支援の在り方

家庭内での男女の
協力、支え合い

学校での暴力やハラスメント
など子どもの人権は？

パネラー紹介

Rさん 20歳 会社員

小2から行き渋り、3年生から遅刻しながら母の付き添いで登校。欠席や遅刻しながらも高校入学。編入卒業し就職。社会人になったから見える学校のあれこれを話します。

Kさん 40歳代 母親、サービス業（飲食業）

娘が小4から不登校（現在中2）。これまでの葛藤や、得た気づき、前を向けるようになったきっかけ、今の心境などを話します。

Yさん 70歳 父親 子どもの居場所主宰

35年前に子どもたち3人が不登校に。夫婦関係がギクシャクし、家の明かりが消えてから帰宅することも。当時の辛かった思いを反省も込めて語ります。



主催：松江不登校を考える会「カタクリの会」

共催：プリエールねっと 松江市（男女共同参画センター）

問合せ先：090-7773-7917(あごう) *スティックビル駐車場の割引あり